



菅野大志の「いどばた会議」

vol.1

まちづくりに関する活動や近況などを西川町長・菅野大志が綴ります。

今月のテーマ

西川町長、菅野 連載始めます！

西

川町の皆さま、こんにちは！菅野大志です。町長就任後、町民の皆さまから「いっつも何しただんだ？」「町長のどこさ、どだな人来たんだが教えてくれる」との声をいただきましたので、今月から町報を通じて、普段の活動や取り組み、感じたことなどを皆さまにお伝えしていきます。今月は、鳥取、東京、京都、福島、仙台などから仲間が来町し、西川ファンとなりました。

まちづくりに力を！

全国各地の方と対話中

就任後、町内の事業者さまや商工会などの皆さまから、モウモウまつりの改善、屋内施設の設置、カヌー競技者へのおもてなし、歓迎ムードの醸成、山菜の集荷、また、町外、県外問わず多くの企業からお越しいただき、各種企画について対話させていただいています。今後さらに町内・町外の方と力を

合わせ、「稼ぐ・稼ぎ続けるまちづくり」を進めるため、活動していきます。

山菜収穫に参加しました

5月29日、沼山わらび愛好会のわらび収穫に参加。朝5時に収穫し、銘水館のオープンに間に合わせる事ができました。集荷体制の整備や、県外の販路先をどう確保するか、収益化できるかなど、生産者の方と現状・課題を共有することができました。

公園ミーティングを開催して

5月30・31日、6月2日の3日間にわたり、「公園ミーティング」を開催し、町民の方約100名からご参加いただきました。本当にありがとうございました！詳細は、本誌の来月号でお知らせします。

今後も対話を重ね、可能な限り、必要な事業を「対話↓予算化↓実施」の順番で決めていきたいと思えます。皆さまからぜひ、まちづくりに関わっていただきたいです。一緒に住みよい西川を作っていきましょう！

Photo gallery

最近のかんの



写真1：商工会女性部の皆さまと。女性ならではの、またお客様からの意見をいただきました／2：沼山わらび愛好会の作業風景。山菜の仲介事業者をつくり、高く売れる販路が必要だと感じました／3：「公園ミーティング」参加者の皆さまと。高校生から「スケボーができる公園を整備すれば人が呼べる」との意見が。その他、貴重な意見・提案をたくさんいただきました